



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年9月9日
文責 八木幸夫

温かな関わりを大切に

あいさつや言葉遣い、コミュニケーションのあり方等を振り返り、あたたかな関わりを大切にする生活して欲しいという願いで、集会で教頭先生が全校生に向けてお話をしました。

運動会が大成功に終わり、今はその成果を生活に生かし、2学期の再スタート、新たな目標（3年は進路、1、2年生は新人大会）に向かう大切な時期です。その大切な時期だからこそあたたかい関りづくり、雰囲気づくりについて皆さんに考えてほしいと思います。

先日、みなさんに読み聞かせをしてくださっていた加藤美恵子さんがお亡くなりになりました。生前、美恵子さんはあたたかい雰囲気の小国中が大好きだと言っていたそうです。こんなあたたかい雰囲気の中学校が小国町にあることを誇りに思うとも言ってくれたそうです。この話を聞いて私は本当にうれしくなりました

しかし、先日の心の相談アンケートのなかに「バカ」「死ね」「キモイ」という言葉が気になる、やめてほしいと教えてくれた人がいました。言った人に確認したところ、悪気はなく、何気なく言ってしまったと言う事でした。しかし、小国中生の中に「いやだなあ」と感じていたり、疎外感を感じていたりする人がいるということは事実です。これは「いじめ」です。言葉遣いや相手に対する態度によってその人が「自分はバカにされている」「仲間はずれにされている」と感じたら、やっている人がそんなつもりがないと言っても、それは「いじめ」です。相手が嫌がる行為はどんな理由があってもいじめです。いじめは重大な行為です。いじめは大人の社会ではハラスメントと言われ、裁判に訴えられることもある犯罪です。

心の相談アンケートの中には自分に言われてはいないけど「バカ」「死ね」「キモイ」と言っている人、言われている人がいることが気になると教えてくれた人がいました。あなたがもし「バカ」「死ね」「キモイ」と言っている人、言われている人を見かけたらどうしますか？私は「そんなこといってんなよ」と止めてほしいです。みなさんはからかっている人を黙って見ている人がいたら、その人のことをどう思いますか？私は黙って見ている行為は人をからかうこと いじめをすることを許している行為だと思います。

みなさんには自分がされてうれしいこと 心が温かくなることをこころがけてほしいです。例えばあいさつです。元気のいいあいさつは相手を大事にしている表れです。普段はあまり話さない人にも積極的にあいさつを試みてはどうでしょう。教室に入る時、大きな声でクラスの仲間にあいさつしたらどうでしょう。そして、「おはよう」といわれたら 大きな明るい声で「おはよう」とかえしたらどうでしょう

そうしたら、きっとみんなの心があたたかくなると思います。

また、「～君は～なところがすごいね」などと相手の良さを伝えてあげるものいいと思います。きっと、あたたかい関りや雰囲気ができると思います。

小国中にいじめはいりません。小国中生全員が誇りを持って「小国中学校はあたたかい雰囲気の学校だ」と言える学校に一人ひとりの手で創り上げてほしいと思います。

コミュニケーションの基本

人は他の人と関わりながら生活しています。クラス替えがあるとは言え、小学校から同じメンバーで学校生活をおくる小国中生は、ある意味安定した人間関係の中で生活していると言えるかもしれません。気心の知れた、親同士も知り合いで、何でも言い合えるような関係かもしれません。しかし、人間関係が固定化して、特定の人としか関われない。いったん仲違いをしてしまうと関係修復ができない……。人との関わり方に不安と、悩みを持っている生徒が少なくありません。

人は数え切れないほど多くの人と出会い、関わりを作り、社会的に自立していかなければなりません。より良い人間関係を築くためのスキルを身につけ、自分の感情と向き合い、しなやかに生きていく術を身につけていかなければなりません。

「自分を大切にし、相手も大切にする。そして周りの人にも嫌な感じを与えない。」コミュニケーションの基本です。人との関わりの中で生きていく私たちに求められるスキルです。

コミュニケーションの基本

自分を大切にする。相手も大切にする。周りに人にも嫌な感じを与えない。

そのために

プラスのストロークを大切にしよう。

- 相手が心地よさを感じる働きかけ
- 相手に元気を与える
- 人間関係を良くする

ストロークのブーメラン効果

プラスのストロークは、他人に与えれば与えるほど自分に返ってくる。プラスのストロークをお互いに与え合いましょう。

●もしかしたら・・・

自分で気づかないうちに、あなたの言葉がけや、態度、言葉遣いが相手の心の栄養を奪っていませんか・・・

ストロークとは？

- 他人に対する態度の表現
- 相手の存在を認めてする働きかけ

例えば

あいさつ、笑顔、握手
思いやり ほめる 感謝

ストロークは心の栄養

- プラスのストロークをたくさんもらうと人は元気になる。
- もらったストロークは心の貯金。いっぱい貯めるとストレスにも耐えられる。

人をバカにする、差別する、無視する・・・、これらのマイナスのストロークは相手の心の栄養を奪い取るだけでなく、深い傷を負わせます。そして、ストロークのブーメラン効果で自分に返ってきます。他からの信頼を失うコミュニケーションです。

人には誰にもキラリと光る良さと欠点の両方があります。欠点よりも良さに目を向け、お互いがプラスのストロークで関わり、元気エネルギーを蓄えることができる学級、学年、学校づくりに努力しましょう。

